

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2024年3月号(第179号)

発行責任者 松尾 基昭



江戸時代中期 入手先？
写真は、今年の町造商店の
展示場「野老澤雛物語」で
撮影。この企画は、2009年
より開催されている人気
企画展で毎年多くの方が
鑑賞に来店されています。

野老澤 雛物語

もともと雛人形は子供を怪
我や病気から守り、将来幸せ
な家庭を築けるようにとい
う両親の祈りを込めて飾ら
れるものです。各々の雛人形
も、その時々時代背景を色
濃く映し出しています。

ところざわ倶楽部寄席開催

～笑う^{ところ}野老にハッピーがくる！～

事業部長 野口 喜美夫

4月10日(水)に開催を予定しているイベントは、『ところざわ倶楽部寄席』と銘打って落語、講談、昭和歌謡、そして民謡と盛り沢山の内容となっています。

今回のイベントの根底にあるテーマは「笑いと健康」です。そういった意味で、今回のキャッチフレーズ「笑うところ【野老】にハッピーがくる！」はピッタリの言葉でしょう。実は、所沢演芸会の出演者全員が素人なのですが、第30期市民大学の課外授業「所沢市民大学寄席」でその評判たるや“素晴らしく、素人芸を超えている”と評価を得ています。

落語や講談・歌など、ただ座って聞いていれば良いように思えますが、皆様に参加できるよう一部、工夫していますし、最後にハプニングも用意しています。

当倶楽部の会員だけでなく、ご家族、ご友人に声をかけて下さい。奮っての参加をお待ちしています。

日時：4月10日(水) 13時30分より (開場 13時)

会場：所沢中央公民館ホール 入場無料

出演：所沢演芸会

落語	荻灯亭 舞香、事例亭 文太、荻灯亭 ばん番
講談	高円寺亭 押忍軽 (三味線 海月)
昭和歌謡	木村明美
演歌・民謡	ぎんちゃん

主催：ところざわ倶楽部

ところざわ倶楽部ホームページの検索は <http://www.tokorozawaclub.com/>

《 特別会員寄稿 》

ドラマティック・カンパニー との 年月

作曲家・演奏家 笠松 泰洋

2006年に、所沢市民大学で「舞台を作る視点から読むシェイクスピア」という講座をさせて頂いた。私は1997年に彩の国さいたま芸術劇場でスタートした蜷川幸雄さんがシェイクスピアの全作品上演シリーズの音楽を担当して、シェイクスピアに詳しい人、と見做されたい。次に、シェイクスピアを実際に朗読してみる、という講座を持った。これに参加した中の方々が、これを続けていきたい、笠松先生、一緒にやってくれませんか、という提案をしてくれて、それを受けて、ところざわ倶楽部の一つとして「ドラマティック・カンパニー」が誕生した。そして18年目に入っている。初代のメンバーがいまでも4名健在である。私も40代中盤で講師として市民大学に参加したのに、今では60代になっている。私自身がこれを継続している理由を考えてみると、2つあるように思える。

まず第一は、シェイクスピアがいくらやっても尽きぬ面白さがあることである。例えば、これまでに幾度も音楽を作った「ロミオとジュリエット」でさえ、今読んで初めて気が付くことだらけなのである。初めて出会った10代の若者が、翌朝結婚し、その結婚を貫こうとして2人とも自害してしまう、という話なのだが、1週間の間に全てが起こる。その性急さがずっと納得できなかった。2人の窮状を乗り切る秘策を記した神父の手紙を届ける若い修道士が、途中で寄った家の地区から疫病患者が出たために、封鎖されて出られなくなり悲劇的結末に至る。そこも都合の良い適当な理由としか思えなかった。

コロナが世界を覆い、この作品はペストの渦中の物



笠松先生（前列中央）とサークルメンバー

語であることがようやく飲み込めた。

当時のペストの猛威はさまざまに、街が消滅するような恐ろしい伝染病だった

のだ。しかも、この「ロミオとジュリエット」は、ロンドンの劇場がペストで3年近く封鎖された後に上演されたものだった。ロンドンの人々は、好きな相手を見つけたら明日の朝に結婚したい若者の気持ち、娘に良い縁談があったら、翌朝に結婚式を挙げさせようという父親の気持ちが切実にわかったのだ。コロナがなかったら、この謎は一生解けなかったと思う。人間、経験しないと分からないことが本当にある、ということを知った一件でもあった。

もう一つの理由は、これに集う皆さんとの時間が、とても貴重なものになっていったからである。私はずっとフリーの作曲家・演奏家という立場で仕事をしているので、定期的に会う人は、家族以外ほとんどいない。その中で、このシェイクスピアを読む会は、どこか家族的な、定点観測点のような、お互いの顔を見て声を聞いて、シェイクスピアを読みながら世情の話も出来る、貴重な集まりになってきたのである。どんなに忙しくなっても、月に2度、じっくりメンバーの方々とシェイクスピアを読む時間は、年を追うごとに貴重なものになってきた。それで自分としては、自分の健康が許す限り、メンバーがいる限り、自分のためにこの会はずっと続けたいと思っているのだ。シェイクスピアの名作はもうほとんど2度目の講読になっている。それでも、今の世情を映すシェイクスピアに感嘆しながら、毎回読んでいます。

武蔵野雑木林の落ち葉掃き

所沢の自然と農業サークル

稲村 洋二

毎年12月、1月の冬場を迎えると我々のサークルは落ち葉掃きで多忙の時期を迎えます。

今冬も柳瀬地区の陽子ファーム、三芳町の伊東農園、三ヶ島のトトロ21号地で落ち葉掃きを実施しました。昨年7月に武蔵野の落ち葉堆肥農法が世界農業遺産に認定され、都市近郊で環境にやさしい落ち葉堆肥農法を長く継承してきていることが評価されました。落ち葉掃きをやるには多くの人集めが必要となります。また、上記3か所の落ち葉掃きの場所はそれぞれ地形も面積も違って、落ち葉掃きのやり方も違いますが、落ち葉の種類、落ち葉掃き使用する道具はほぼ同じです。落ち葉の種類はコナラ、クヌギが大半です。落ち葉を集める道具は熊手と籠、落ち葉を運ぶビニールシートです。

今年行った3か所の落ち葉掃きを以下に説明します。

① 陽子ファーム（所沢市城）

陽子ファームは柳瀬地区で無農薬野菜を40年間作り続けている農園です。先ず落ち葉掃きの準備として枯れ枝拾いを昨年12月19日に行いました。枯れ枝拾いは林地に落ちて落ち葉掃きの邪魔になる枯れ枝を取り除く作業です。陽子ファームの林地は2か所あり、柳瀬公民館の裏側の林地と関越高速沿いの林地です。どちらも傾斜地で落ち葉をビニールシートに乗せ、集積場所までの傾斜を登ったり下りたりしなければなりません。結構疲れる作業です。林地に立って驚いたのは昨年は思わなかったのですがコナラ、クヌギの木が老木になっていて、さらにカシノナガキクイ虫（梢枯れ病）の被害にあった老木が何本も切り倒されていたことです。若い木が少なく来年以降の落ち葉掃きが林地で続けて行けるのかどうか不安に思われました。落ち葉掃きは年が明けた1月9日（土）に行いました。陽子ファームは所沢市農業振興課が後援する落ち葉掃き農家の中の一つで、落ち葉掃きの道具は市が貸し出しています。道具の熊手は竹製で現在作る人も少なく高価なため使用する前に使い方について詳しく説明を受けました。また、落ち葉掃きの人集めも市の広報誌で募集し、世界農業遺産認定のこともあってか、すずかめ子供食堂の子供も含め合計140名の参加がありました。



② 伊東農園（三芳町）

伊東農園は通称“いも街道”に面する現在の場所で360年間農業を続けてこられました。現在はサツマイモの栽培とお茶を栽培され母屋の中にお店を持たれ6次産業化を実践されています。伊東農園は典型的な地割された農家です。地割は東西になされ、母屋の先700メートルわたってさつまいも畑で、その先1kmは林地となっています。

伊東農園の枯れ枝拾いは1月13日（土）に行い、落ち葉掃きは1月20日（土）に行いました。林地は梢枯れ病にかかって切り倒した木が2本程度ありましたが、木が比較的若くさらに林地の入り口付近に幼木を含め新しい若木が植えてあり、次世代へ林地を残す段取りがなされていました。伊東農園の落ち葉掃きには毎年なのですが埼玉森林サポーターズの若手の皆さんが20名程参加され、主に落ち葉が詰められた籠を軽トラに乗せ母屋のサツマイモの苗床と堆肥をつくる集積場に運んでくれます。自然と農業サークル、市大ファーム、山田ファーム、秩父学園グループ、トコトコ農園グループを含め総勢80名で落ち葉掃きを行いました。土産として各自サツマイモを3～4本いただいて帰りました。

③ トトロ21号地

三ヶ島地区にあるトトロ21号地は山田ファームの人たちを中心に、自然と農業、市大ファームのメンバーが集まり1月24日（水）に行いました。昨年の落ち葉を堆積した場所は残った落ち葉堆肥をイノシシが荒らして中のカブトムシの幼虫を食べたとのことです。トトロ21号地の落ち葉掃きした地域は林地の半分程度でそんなに広くありません。梢枯れ病の為、地域の半分は樹木が伐採され、それまでは高木の日陰で成長が妨げられていたタラの木が密集して大きくなっています。トトロの森も梢枯れ病の被害が大きく、伐採された跡地の森の再生プランはトトロ21号地の維持・管理ボランティアをしている山田ファーム、自然と農業サークルで自由に考えて欲しいとトトロ財団から言われているとのことでした。

特別寄稿

4年ぶりの中国訪問記（その2）

アジア研究会 玉上 佳彦

中国政府は今年の春節に述べ 90 億人の人が移動したと発表をしていましたが、14 億の人口で、どのような計算で 90 億人となるのでしょうか？不思議な数値です。前回の広場 1 月号で報告しました中国経済が停滞気味のため、大げさな数字を発表して、景気は悪くないと主張しているのかもしれませんがね。前回に続き「4 年ぶりの中国訪問記」として、私の見た最近の中国を報告いたします。

●中国のマナーは良くなってきたのだろうか

以前から中国人のマナーの悪さは、話題になっていましたが、今はどうだろうか？上海と北京の交差点では、多くの交通警官や交通指導員が配置されているので、車、電動自転車のマナーは以前と比べて非常に良くなったような気がしています。しかし、地下鉄の乗降に関しては、降りる人を待たずに強引に乗り込むという状況は相変わらずで、特に目についたのは、ほとんどの人がスマホに夢中になっているため、高齢者も若者も、少しでも早く乗り込んで座席を確保したがる人が目立ちます。但し、行列に割り込むことは少なくなっていました。チケットの購入や予約がスマホで完結できるので、駅窓口で行列に並ぶ必要が少なくなった結果だと思います。

●EV（電気自動車）は約 50%に普及

市内で見た限りでは、BYD などの中国メーカーの EV の普及が非常に目覚ましく、国の脱炭素化に向けた優遇策が進んでいるようです。中国の EV のナンバープレートは、一般の車の青字に白ではなく、緑色のグラデーションなのですぐわかります。上海ではガソリン車のナンバーの取得が非常に高額のため難しいのに対して、EV のナンバーは無料で取得できるので、普及を促進しているようです。今回は行けなかったのですが、広東省深圳市では、バスやタクシーはすべて国産（BYD）の EV だとのことでした。



●高速鉄道は速くて快適

2007 年に北京－天津間で営業運転を開始した中国の高铁（新幹線）は、ネットワークが拡大し、現在では 37,900km と拡大していました。ちなみに、日本の新幹線の営業距離は 2,800km です。今回利用した上海から天津まで最高時速は 306km、天津－北京間は 347km で走行していましたが、揺れが少なく快適でした。中国国内だけでなく、2021 年には昆明からラオスのビエンチャンまで延長されており、将来的にはタイ、マレーシア、シンガポール

までの構想があるようですが、今後の中国と ASEAN 諸国との関係次第でしょう。更に、2023 年完成予定で、福建省平潭から台湾の新竹まで橋で 130km を約 30 分で結ぶ京台高速鉄道構想があるようですが、今後の中台関係次第でどうなるか微妙だと思います。

●TV の天気予報で南沙諸島が

中国の CCTV の天気予報では、今回北京のホテルの TV で、台北と南沙、西沙の天気も放送されていました。一瞬の放送だったため、聞き逃しているのかもしれませんが、台北の次に南沙など 3 ヶ所の天気が放送されていました。2023 年 8 月に発表した中国標準地図では、南シナ海全域を中国領土としているので、フィリピン、ベトナムなどの東南アジア諸国との領有権争いがある中で、自国の領土を主張する中国らしい放送でした。幸いにして沖縄や尖閣諸島の天気は放送されていませんでした。

●若者に火鍋が人気

今回の中国訪問では、かつての友人や部下と食事をする機会がありました。そのうちの 4 回は最近人気の各種の「火鍋」店で食事を楽しむことができました。上海や天津では、予約が取りにくい火鍋の店が多くあり、若者や女性に人気となっているようでした。もともと中国の火鍋は、内モンゴルの羊肉のしゃぶしゃぶのようなもので、鍋が 2 つに別れていて、辛い味と辛くない薬膳風味を楽しむのです。更に火鍋とは別に四川風味の辛い料理も若者（特に女性）に人気になっていたようでした。残念ながら私の大好きなアルコール度数の高い白酒は若者には好まれていないようで、最近の主流はビールとワインのようでした。



火鍋



私の大好きな天津の白酒（38度）

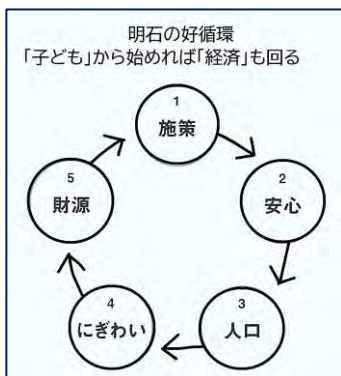
おすすめの1冊

泉 房穂「社会の变え方」

地球環境に学ぶサークル
内海 喜洋



(ライツ出版)



随分と良い街に生まれ変わり、子育て世代が多く移り住み人口も毎年増大していると聞いていた。

半信半疑で読み進めて行く内に、段々と泉のファンになって行く自分に気が付いた。貧しい漁師の家で育ち、障害を持って生まれ、「優生保護法」と兵庫県独自の「不幸な子供の生まれない県民運動」の名の下に、生まれなかった事にする様勧める医師に対し、必死に助命を懇願する両親によって一命をとりとめた弟。必死の歩行訓練で地元の小学校に通える力を付けた弟に対し、歩きにくいなら電車バスを使って遠方の養護学校に行く事を指示する行政。

こんな不条理な経験を重ね、社会の冷たさとそれに対する復讐（より良い社会に変える事）を誓った青年期の泉。

一昨年、28期市民大学で地方自治を専攻しパルコ撤退による新所沢駅周辺の賑わい喪失対策をテーマに検討を行った。その過程で地元自治会グループや市職員、市議会の委員長・議長達とも話をする機会を得た。そこで得た結論は、全ては市長の考え次第であるが、F市長は全く関心が無いらしいという事。

この閉塞した市政を変える方法は無いかと思っていた矢先の昨年2月、この本と出合った。著者の泉房穂＝暴言で2度も市長を辞職した短気な市長だけど、明石市は彼の進めた子供を守る政策によって

「私らが死んだ後は、あんたが弟の面倒を最後まで見なあかんから2人分稼げるようになってな」と繰り返し言われ、猛勉強して東大入学を目指す。余裕のない生活のため、近所の本屋で参考書を立ち読みしながら独学で受験勉強をしていたら、本屋さんが店の片隅に小さな机と椅子を用意してくれた。それらの善意のお陰で無事合格し、入学金も授業料も免除、更に返済不要の奨学金も貰えた。

そんな泉の行動の原点は代議士、弁護士を経て明石市長になっても一貫して変わることなく「子供に冷たい社会に未来はない」との政治信条を貫く。更に、障害者・高齢者・犯罪被害者・LGBT等の社会的弱者に対して支援を拡げ、「子供にやさしい街は全ての人にやさしい街」に明石を作り変えていった。

圧倒的にアウェイの状況でたったの69票差で市長に当選した泉にとって、市議会も市役所も財界も全ては敵で、子供手当を捻出するため前市長時代に計画されていた土木工事を中止した事で、利権を失った関係者の恨みは強く家族への嫌がらせも続いた。既得権益を守る仕組みは強固、何の行動も起こさずに文句を言っているだけで変わるほど甘くはない。変わらないのは行動しない私たちの責任、私たちが変えていくしかないと言。泉は言う。

「上から」「一律」「これまで通り」を捨て、「市民目線」で「横並び意識」を排し「前例主義」から脱却し、大事にすべきは規則ではなく人。市民を生きづらくする法律や制度があるなら、法律や制度を変えるべきだと力強く明石の政治、行政を変えて行く。

「ゆっくりするのは、死んでからでいい。溺れる人を救う。人のために生きる」大学生の時に両親に言い放った言葉の通り生きてきたつもりだと言い切る泉の言葉に嘘は無い。

社会は変わる。所沢も変わる。日本も変える事が出来る。この本が教えてくれた。



泉房穂の著書

サークル活動報告

懐かしの映画観賞会

内川 賢治

暮らしの歳時記、繭玉飾りを1月上映会で行いました。「繭玉飾り」は繭玉団子を柳や水木の枝にさしたもので「餅花」の一種です。「餅花」とは丸めた餅や団子を柳の枝にさして作物の豊かな「稔り」を表現したもので、それを神棚やその近くに飾り作物の豊作を祈念した予祝行事です。この習俗はそれぞれの地域の生業や風習と結びついて様々な形態に発展していったようです。例えば「繭玉飾り」の名のとおり蚕の繭を模して繭玉団子をつくるほか、地域によっては稲花、野菜、果物などの農作物、農具、小判や巾着、動物、玩具など、主に五穀豊穡や商売繁盛などに関係したさまざまなものがモチーフにされています。繭玉団子が蚕の繭の形をしているのは、言うまでもなく養蚕をおこなう人々が蚕繭の豊作を祈願していた名残です。小正月の1月14日から16日頃に神棚などに飾るのが一般的なならわしですが、養蚕が盛んな(盛んだった)地域では二月初午を「蚕玉祭り」として、繭玉団子を作り養蚕の守り神である「蚕玉(こだま)さま」を祭っているところもあるということです。いずれにせよ、人々のあいだでこのような養蚕に特化した神様や習俗が生み出されるほどに、昔から日本は養蚕の盛んな国でした。



You tube からのものです



映画の会皆さんで飾りました

ドラマティック・カンパニー

高橋 信行

今年(2024)の初例会から、シェイクスピア処女作の三部に及ぶ歴史劇大作「ヘンリー6世」を読み始めています。第一部は英仏百年戦争中に幼児で即位したヘンリー6世の青年時代を扱い、ジャンヌ・ダルクも登場し、フランスを舞台にした話が中心(現在輪読中)、第二部・第三部はイングランド中心で、ヨーク家とランカスター家による王位争いの内戦、いわゆる薔薇戦争(1455~1485)です。ランカスター家(赤薔薇)のヘンリー6世がヨーク家(白薔薇)のグロスター公リチャードに殺されるところで第三部の幕となります。このグロスター公リチャードが「リチャード三世」になり、次の歴史悲劇「リチャード三世」へと続くわけです。イギリス史への興味が沸きます。

読み始めて難儀したのは、いまでも難儀続きですが、多彩な登場人物とその肩書がすんなり頭に入っていないことです。また家系図の複雑さも理解に困難の輪をかけて難渋しています。

そして、セリフの意味、文字上の意味は当然ながら場面に置ける意味を想像し考えて発声しなければなりません。なんとややこしいことかとため息が出ます。斯く言いながらも内容の面白さ・奥深さに惹かれて読み進んでいく昨今の例会です。

当サークルに新年にかけて何年振りかで新しい仲間を迎え、その活躍ぶりが期待されると同時に、新たな刺激を受けてアドレナリンが分泌、脳内活性化しております。認知症も何処へやら、の勢いであります。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

3月27日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室
テーマ：野口会員による「中国ビジネスの思い出」

4月17日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室
テーマ：未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

3月19日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
プッチーニ歌劇「つばめ」観賞

4月16日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
ジュール・マスネ歌劇「タイス」観賞

3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)

3月26日(火) 東京農大博物館見学(千歳船橋)
食と農の珍しい展示です。
興味のある方はごいっしょしませんか。

4月23日(火) 日本の「農業の課題」を考える
ふらっと

4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)

3月22日(金)10:00～12:00 読書会 新所沢東公民館
3月26日(火)9:00～11:30 月例会 新所沢東公民館
主な討議内容：2/27 出前講座(カーボンゼロへの取組他)
4月28日(火)9:00～11:30 月例会 新所沢東公民館

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

3月13日(水)13:15～16:00 中央公民館 3階学習室7号
出前講座「所沢市の防災・減災対策」講師：所沢市危機管理室
“私たちの住む所沢の防災について考えましょう” **自由参加**
＜SP/スマイルパイレーツの練習日＞ 見学大歓迎！

3月9日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター多目的室
3月23日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター多目的室

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

3月14日(木)13:00～15:00 定例会新所沢公民館学習室1号
3月19日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
3月29日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア
4月11日(木)13:00～15:00 定例会 新所沢公民館学習室1号
4月 春季ハイキング
4月下旬 お茶摘みボランティア

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (佐野 喜代子 2925-4144)

3月7日(木)13:15～15:00 生涯学習推進センター多目的室
歴史講座「所沢市の誕生」講師 木村立彦氏(文化財保護課)
講座は「ところざわ歴史物語増補改訂版」を使用します。
3月21日(木)第3回武蔵野三十三観音巡り 9:10 所沢駅西口バス停
に集合 7番徳蔵寺から8番圓乗院 13番金乗院(山口観音)まで
4月4日(木)歴史ウォーク(後半) 箱根ヶ崎→多摩湖 詳細調整中

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

3月9日(土)10:00～12:00 中央公民館3号学習室
「ヘンリー6世」朗読続き

3/23, 4/13, 4/27 予定
いずれも 時刻、場所、事項は上記に同じ

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

3月12日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「スケアクロウ」(73年 米)ハックマン・アルパチーノ
3月26日(火)10:00～12:30 西新井町会館 イベント予定か？
邦画「銭形平次-人肌蜘蛛」(56年大映)長谷川一夫 主演
※季節の歳時記「桃の節句」ひな飾りなど展示 和菓子!?

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

3月25日(月)13:30～16:00 中央公民館 学習室4号
「朗読鑑賞会」朗読：森野辰夫氏「みぞれ」重松 清作
朗読：田中京子氏「転生」志賀直哉作
4月22日(月)13:30～16:00 中央公民館 学習室5号
令和6年度「総会」1年間の活動計画を皆で検討し決定

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

3月18日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
テーマ：「新市長施政方針」の自由討論
小野塚市長の施政方針について、前市長との違いなど自由に討
議しましょう。
4月15日(月) テーマは3月定例会で決定

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

3月15日(金) こどもと福祉の未来館 多目的室2号(1階)
① 所沢の民話「塚ノ越地蔵」を重点稽古し、スキルアップ
② 提案のむかしばなしや民話を検討し、今期二作目に挑戦
③ 民話「あっちいっちの新光寺」の第一回目の脚色案の検討
4月19日(金) 定例会
こどもと福祉の未来館 ボランティア室

13. ITサロン(ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

3月18日(月)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号
3月28日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 学習室5号
4月15日(月)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号
4月26日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号

理事会報告 (総務部 中原幹男 080-4151-1045)

・2/19 第17期第3回理事会を開催 終了後事業部実行委員会
会長コメント：「広場」はサークル活動の「心」が伝わるような
内容にしていきたい。サークル同志のつながりを深めまとめる力
をつけたい。・事業部4/10(水)中央公民館ホールにて所沢演芸
会による「ところざわ倶楽部寄席」を計画。
・次回理事会3/11(月)10:00～新所沢東公民館講堂

みんなの広場
第 56 回

お詫び

選者の都合により、今月は川柳を

お休みさせていただきます



奥能登紀行

民話の会 荒木千代子

今から30数年前、娘と二人上野から夜行列車で金沢駅に向かいました。早朝5時頃金沢駅に到着、列車の中で休息をとり、その後七尾線で和倉温泉駅まで行き、能登島バスに乗り換え、能登島大橋を渡り、能登島に入りました。能登島水族館、能登島ガラス工房を見学した後、再び和倉温泉駅に戻り、のと鉄道で、七尾北湾の海岸線を走り、美しい風景に引き寄せられて気がついたら穴水に到着していました。ここで路線バスに乗り換え、「九十九湾、見附島（別名軍艦島）」を見学した後、珠洲市に入り狼煙でバスを降り、能登半島突端の岬の白亜ドーム型灯台「禄剛崎灯台」に行く予定でしたが、辺りは既に薄暗くなりかけていたので断念して、この日は近くの宿で一泊することにしました。

翌朝、路線バスを待つ間海岸に降りました。冷たい風が吹く中でしたが、珍しい「波の花」を目にすることができました。

輪島行きのバスで、美しい海岸線を走り、途中「すず塩田村」、「白米千枚田」を車窓から眺めながら、輪島では、「輪島漆器会館」、「朝市」、「輪島キリコ会館」など伝統と文化に触れ合うことができました。帰りは、輪島駅からバスで千里浜なぎさドライブウェイを走り、金沢駅に向かいました。能登の美しい景色を眺めたり、能登の伝統に触れたりと能登の魅力をたっぷり満喫した旅でした。

あの美しい景色を思い出しながら、地震からの一日も早い復興をお祈りいたします。

編集後記

つい先日、ある会員から「“広場”の投稿者が男ばかりであるのは問題ではないか」との指摘を受け、ここ1年間の“広場”投稿者の男女比を調べてみました。それによると、川柳とサークル活動計画を除き男性71名対女性33名でほぼ7:3の割合でした。前月（2月号）は確かに8:1だったのでほぼ「男ばかり」でした。現在、倶楽部会員の男女比は55%:45%です。それに比較すると女性の投稿があと1.5倍になるのが望まれます。“広場”は全体行事とサークル活動情報の共有に重きを置いていますので、その筆者が男性に偏っており、その結果が投稿者の男性数優位となっています。広場編集員は、玉上前広報部長の女性増員策により男性8:女性6まで拮抗しており、紙面制作は女性のセンスが生かされています。これからもっと女性の投稿を働きかけていきますので、みなさまのご協力をお願いします。

中原幹男：記